

東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol.13

シェーンベルク《グレの歌》

Tokyo-HARUSAI Choral Works Series vol.13

必聴

名匠ヤノフスキ×NHK響の《グレの歌》

指揮：マレク・ヤノフスキ
Conductor : Marek Janowski

ヴァルデマール王：デイヴィッド・バット・フィリップ
Valdemar : David Butt Philip

トーヴェ：カミラ・ニールンド
Tove : Camilla Nylund

農夫：ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー
Bauer : Michael Kupfer-Radecky

山鳩：カトリン・ヴンドザム
Waldtaube : Katrin Wundsam

道化師クラウス：トーマス・エベンシュタイン
Klaus Narr : Thomas Ebenstein

語り手：アドリアン・エレート
Sprecher : Adrian Eröd

管弦楽：NHK 交響楽団
Orchestra : NHK Symphony Orchestra, Tokyo

合唱：東京オペラシンガーズ
Chorus : Tokyo Opera Singers

合唱指揮：エベルハルト・フリードリヒ、西口彰浩
Chorus Master : Eberhard Friedrich, Akihiro Nishiguchi

2026.3.25 [水] 19:00

2026.March 25 [Wed.] 19:00

S ¥27,000 A ¥22,500 B ¥18,500 C ¥15,000

D ¥12,000 E ¥9,000 U-25 ¥3,000

※U-25は2月13日[金]12:00発売(音楽祭公式サイト限定取扱)

※ライブ・ストリーミング配信のネット席(有料)に関する情報は2月頃発表予定。

※残席があり会場にて当日券を販売する際、料金は各席種+500円となります。

東京文化会館 大ホール

Tokyo Bunka Kaikan, Main Hall

公演に関するお問合せ 東京・春・音楽祭サポートデスク

050-3496-0202 (月曜・水曜・金曜ならびにチケット発売日 10:00-14:00)

※音楽祭開催期間中は、土・日・祝日も含め全日営業

東京春祭 合唱の芸術シリーズ vol.13

シェーンベルク

《グレの歌》

必聴——名匠ヤノフスキ×N響による《グレの歌》

シェーンベルクが長い年月をかけて完成させた後期ロマン派最後の傑作《グレの歌》。

総勢約300名のオーケストラと合唱、5名の歌手と語り手という大規模な編成で奏であげる超大作を、ドイツ音楽の正統を体現する名匠マレク・ヤノフスキが、87歳を迎え自身の演奏活動の集大成の1つとして指揮する。創立100年という歴史的節目を迎えたN響、デイヴィッド・バット・フィリップ、カミラ・ニールンド等、世界の第一線で活躍する最高の歌手陣とヤノフスキからの信頼も厚い合唱・東京オペラシンガーズが集結し、圧巻の演奏をお届けします。

長期休館を控える東京文化会館で聴ける、まさに最後の名演——この一夜を聴き逃すことはできない。



©Felix Broede

マレク・ヤノフスキ (指揮) Marek Janowski (Conductor)

ポーランド・ワルシャワ出身。現代を代表する巨匠の一人として、ワーグナー、R. シュトラウス、ブルックナー、ブラームス、ヒンデミット、新ウィーン楽派等で高い評価を得ている。1970年代にフライブルク・イム・ブライスガウやドルトムントで音楽総監督として活動。その後、メトロポリタン歌劇場、バイエルン国立歌劇場をはじめ、ウィーン、ベルリン、パリ、東京等の歌劇場・コンサートホールに客演。フランス放送フィル、ケルン・ギュルツェニヒ管、ベルリン・ドイツ響、モンテカルロ・フィル、ベルリン放送響、ドレスデン・フィル等の主要ポストを歴任。90年代から独逸系のレパートリーに傾注し、ベルリン放送響とのワーグナー・チクルスは、演奏会形式による新たなスタンダードを構築。東京春祭ワーグナー・シリーズでも多くの名演を成し遂げている。



©Andrew Staples

デイヴィッド・バット・フィリップ ヴァルデマール王 (テノール)

David Butt Philip / Valdemar (Tenor)

英サマセット州出身。王立音楽院、国立オペラ・スタジオ等で学ぶ。ウィーン国立歌劇場での《ニュルンベルクのマイスタージンガー》ヴァルター、ベルリン・ドイツ・オペラでの《ローエングリン》タイトルロール等に出演。2023年の東京春祭ワーグナー・シリーズ《ニュルンベルクのマイスタージンガー》でヴァルターを歌った。



©Shirley Smeaz

カミラ・ニールンド トーヴェ (ソプラノ)

Camilla Nylund / Tove (Soprano)

フィンランド出身。幅広いレパートリーを誇り、ワーグナーやR. シュトラウスの主要な役を得意としている。ウィーン国立歌劇場、バイエルン国立歌劇場、メトロポリタン歌劇場、ミラノ・スカラ座、パリのオペラ・バスティーユ、ベルリン国立歌劇場、ベルリン・ドイツ・オペラ、バイロイト音楽祭、ザルツブルク音楽祭等に定期的に客演。



©Dan Hannen

ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー 農夫 (バリトン)

Michael Kupfer-Radecky / Bauer (Baritone)

引く手あまたのドイツ人バリトン。パリのオペラ・バスティーユ、ミラノ・スカラ座、バイエルン国立歌劇場、バイロイト音楽祭等で活躍。主な出演は、ドレスデン音楽祭での《レオノーレ》ピッツァロ、カタリーナ・ワーグナー演出による東京・新国立劇場での《フィデリオ》ピッツァロ、マンハイムでの《さまよえるオランダ人》タイトルロール等。



©Liliya Namisyk

カトリン・ヴンドザム 山鳩 (メゾ・ソプラノ)

Katrin Wundsam / Waldtaube (Mezzo-soprano)

オーストリア出身。ベルリン国立歌劇場、ドレスデンのゼンパーオーパー、ハンブルク州立歌劇場、エルプフィルハーモニー・ハンブルク、ウィーン楽友協会、ブレンツェン音楽祭等、世界の一流歌劇場、コンサートホール、音楽祭で活躍。2023年の東京春祭ワーグナー・シリーズ《ニュルンベルクのマイスタージンガー》でマダレーネを歌った。



©Julia Wesely

トーマス・エベンシュタイン 道化師クラウス (テノール)

Thomas Ebenstein / Klaus Narr (Tenor)

オーストリア・ケルンテン州生まれ。ウィーン国立音楽大学で学ぶ。ミラノ・スカラ座、バイエルン国立歌劇場、ベルリン国立歌劇場、ドレスデンのゼンパーオーパー、ハンブルク州立歌劇場、バーデン＝バーデン祝祭劇場他に出演。主要なレパートリーは、《さまよえるオランダ人》舵手、《ニュルンベルクのマイスタージンガー》ダフィト他。



©Nikolaus Karlsnigg

アドリアン・エレート 語り手 (バリトン)

Adrian Eröd / Sprecher (Baritone)

オーストリア出身。ウィーン国立歌劇場やバイロイト音楽祭等に出演。コンサートやリートの分野でも活躍。オーストリア宮廷歌手。2026 / 27年シーズンにウィーン国立歌劇場オペラスタジオ芸術監督に就任する。東京春祭ワーグナー・シリーズの常連で、昨年はJ. シュトラウス《こうもり》アイゼンシュタインで名唱を披露した。

NHK交響楽団 (管弦楽) NHK Symphony Orchestra, Tokyo (Orchestra)

1926年創立。2026年に創立100年を迎える。年間54回の定期公演をはじめ全国各地で約120回のコンサートを開催。ザルツブルク音楽祭など世界の舞台でも活躍し、2025年5月には「マラー・フェスティバル」や「ブラハの春音楽祭」などへの参加に合わせ5か国6都市を巡る「ヨーロッパ公演」を行った。また社会貢献活動として、全国の学校を訪問する「NHK こども音楽クラブ」、被災地や病院に安らぎと元気を届ける室内楽コンサートなど、多彩な活動を行っている。首席指揮者：ファビオ・ルイーゾ。

東京オペラシンガーズ (合唱) Tokyo Opera Singers (Chorus)

1992年の《さまよえるオランダ人》公演に際して「世界的水準のコーラスを」という小澤征爾の要請を受け、東京を中心に活躍する中堅・若手の声楽家により結成。東京・春・音楽祭（「東京のオペラの森」時代の第1回から連続出演）、サイトウ・キネン・フェスティバル松本（現セイジ・オザワ 松本フェスティバル）を中心に活動。シカゴ響、ウィーン・フィル、バイエルン国立歌劇場等と共演。上海国際芸術祭、北京国際芸術祭等にも参加。

こちら必聴！

東京春祭ワーグナー・シリーズ vol.17

《さまよえるオランダ人》

(演奏会形式)

東京文化会館 大ホール

S ¥27,000 A ¥22,500 B ¥18,500 C ¥15,000 D ¥12,000 E ¥9,000 U-25 ¥3,000

ダラント：タレク・ナズミ

ゼンタ：カミラ・ニールンド

エリック：デイヴィッド・バット・フィリップ

マリ：カトリン・ヴンドザム

舵手：トーマス・エベンシュタイン

オランダ人：ミヒャエル・クプファー＝ラデツキー

指揮：アレクサンダー・ソディ

管弦楽：NHK交響楽団

合唱：東京オペラシンガーズ

[2025年12月19日現在]

東京・春・音楽祭 2026

春が訪れ 桜がひらいて 音楽が始まる 上野の森に



コンテンツ充実！東京・春・音楽祭公式サイト

東京の春の訪れを、音楽を介したお祭りで祝う——

明治以来、日本における文化・芸術の集積地として発展を続けてきた上野の杜を舞台に、桜の季節に開催する音楽祭です。国内外から一流アーティストが集い、演奏会形式のオペラや室内楽、歌曲リサイタルをはじめ、美術館・博物館でのミュージアム・コンサートなど充実したラインナップでお届けいたします。その他、お子様に楽しんでいただけるプログラムや、上野界隈やオフィス街、街角での小さな無料のコンサート「桜の街の音楽会」も予定。22回目となる2026年も心躍る春を様々な音色で彩ります。

東京・春・音楽祭オンライン・チケットサービス



www.tokyo-harusai.com

座席選択可 ご利用には登録(無料)が必要です。

バラエティに富んだサービスをご用意しております。



お買い物カゴ
(おまとめ予約)



トリオ・チケット
(5〜8席限定)



U-25チケット
U-25 スペシャル★



電子チケット
(チケットれずQ)



音楽祭
公式プログラム付
チケット



各サービスの詳細やチケットの申込みはこちらから

その他
フレンド
ライズ

東京文化会館チケットサービス 03-5685-0650

チケットぴあ <https://w.pia.jp/t/harusai/>

WEBチケットN響 <https://nhkso.pia.jp/>

N響ガイド 0570-02-9502

お問
合せ

東京・春・音楽祭サポートデスク 050-3496-0202

月曜・水曜・金曜ならびにチケット発売日 10:00~14:00

音楽祭開催期間中は土・日・祝日も含め全日営業

※公演に関するお問合せにお答えいたします。※オンライン・チケットサービスのご利用について、ご案内いたします。※サポートデスクではチケットのご予約は承りません。※ご鑑賞の際、車椅子をご利用のお客様はチケットご予約前に東京・春・音楽祭サポートデスクまでお問合せください。

●未就学児の入場はお断りいたします。●記載のチケット代金はすべて消費税込みの金額です。なお、チケットご購入の際、別途各種手数料やシステム利用料がかかります。ご利用のプレイガイドやお求め方法により金額は異なります。●やむを得ない事情により公演内容を変更、または公演を中止する可能性があります。最新情報を音楽祭公式サイトやSNSにてご確認ください。公演中止以外の理由での払戻しはいたしません。●チケット代金のお支払い後、お客様の事情による変更・キャンセルは承りません。●営利目的のチケットの転売は固くお断りします。不正転売されたチケットではご購入いただけず、金銭的な保証は一切ございません。正規の方法以外で購入したチケットのトラブルに関して、当実行委員会はいかなる責任も負いません。●会場では写真及び動画による撮影・収録を行います。ロビーや客席の様子が一部取り込む場合がございます。予めご了承ください。